

事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	企画調整事務			コード	163102	
2 担当部課	部等	企画政策部	課等	企画課	作成者	岡本 典幸
3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて			
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	将来を見据えた行政経営の推進	
		予算科目	企画事務費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	その他（内部事務等）	国県補助	なし	
		根拠法令	なし			

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	第4次総合計画推進するため、実施計画の策定や主要施策等の庁内調整などを行う。		
目的	対象者	職員	
	意図	行政サービスの質の向上等に向け各種事業の計画立案を的確に行えるようにする。	
5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<p>1. 実施計画策定事務－計画的な市政運営を進めるため、第4次岡谷市総合計画の前期基本計画に基き、平成26年度～28年度を計画期間とする実施計画を作成した。</p> <p>2. 主要事業進行管理事務－岡谷市主要事務事業進行管理規程に基き、事務事業の進行過程を把握し、行政の効率的な執行を確保するため、20事業を指定事務事業とし事業の執行状況報告書を作成し、報告に基き進行管理を行った。</p> <p>3. 庁内調整事務－岡谷市行政管理委員会規則により市長の意思決定を補完する内部機関として、行政管理委員会を開催した。また、事務事業の円滑な執行に向けて庁内を調整するため、庁内会議を開催した。</p> <p>①塩嶺病院敷地の一部を処分するため、測量及び不動産鑑定を実施した。</p> <p>4. ふるさと納税事務－歳入の確保に向けて、市外在住の岡谷市にゆかりのある方に寄付金の募集を行った。</p> <p>5. 大学等進学資金融資補給事業－平成13年度～17年度までの大学進学資金利用者の利子補給及び元金返済金の一部補給を行った。</p>		
前年度の課題への対応	<p>1. 掲載すべき事業が多い。－ 事業の選別。</p> <p>2. 慣例的になっている。－ 指定の方法、報告書の様式、回数の見直しが必要。</p> <p>3. 短時間で意思決定ができるようにする。－ 事前の課題の整理及び調整。</p> <p>4. 「ふるさと納税」の周知方法。－ 武井武雄カレンダーの配布。</p>		

6 ア) コストの推移

*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	4,727,438	3,546,778	3,895,946	3,072,000
経常経費	4,727,438	3,546,778	3,895,946	3,072,000
臨時的経費	0	0		0
* 臨時的経費の説明	塩嶺病院敷地の測量及び不動産鑑定にかかる経費			
② 人件費	28,000,000	28,000,000	24,000,000	24,000,000
正規職員の人数（人）	3.50	3.50	3.00	3.00
③ 合計コスト（①+②）	32,727,438	31,546,778	27,895,946	27,072,000
前年度比		96.4%	88.4%	97.0%
財源	32,727,438	31,546,778	27,895,946	27,072,000
一般財源				
内訳	0	0	0	0
特定財源				
* 特定財源の説明	-			
④ コストに関する補足説明	-			

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
信毎セミナー負担金	件数	1	1	1	1
	金額	48,000	48,000	48,000	48,000
大学等進学資金融資 利子補給金	件数	44	44	34	34
	金額	206,300	106,979	46,818	55,000
大学等進学資金融資 元本返済金一部補給金	件数	33	29	19	10
	金額	2,522,261	1,627,381	732,723	611,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	2,776,561	1,782,360	827,541	714,000
	割合	58.73%	50.25%	21.24%	23.24%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)
	<ol style="list-style-type: none"> 掲載すべき事業の選別。 慣例的になっている。 短時間で意思決定ができるようにする。 新規の寄付者の開拓。
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	<ol style="list-style-type: none"> 事業の選別が必要である。 指定の方法、報告書の様式、回数の見直しが必要。 事前に関係部署と課題の整理及び調査・検討を的確に行うようにする。 「ふるさと納税」の周知方法の検討。
改善開始時期	平成26年4月から

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	
----------	--------	--	--